

農 試 第 291 号
平成20年9月1日

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長
(公印省略)

農作物病害虫発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先	福井県農業試験場 病害虫防除室
Tel	0776-54-5100
FAX	0776-54-6403
E-mail	byogaicyu-boujo@fklab.fukui.fukui.jp

平成20年農作物病害虫発生予察予報第7号

9月の気象予報

天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は高い、降水量は平年並み、日照時間は平年並みと予想されます。

〔水稲関係〕

病害虫名 ツマグロヨコバイ

1 予報内容

発生時期：加害最盛期は8月下旬頃

被害程度：少発

発生量：平年、前年より少ない。

2 防除対策

(1) 早生刈り取り以降に中晩生で多くなる場合があるので注意する。

(2) 株あたり虫数が6頭以上の場合は薬剤を散布する。

〔ダイズ関係〕

病害虫名 ハスモンヨトウ

1 予報内容

発生時期：幼虫加害盛期は9月中旬頃

被害程度：少発、局中発

発生量：平年並み、前年より多い。

2 防除対策

(1) 白変葉や分散前の若齢幼虫がみられたら、早く防除を行う。

病害虫名 カメムシ類

1 予報内容

発生時期：加害最盛期は9月中旬

被害程度：少発、局中発
発生量：平年並み、前年より多い。

2 防除対策

- (1) 圃場への侵入が多くなる子実肥大終期（9月中旬頃）に防除を行う。
- (2) 9月中旬の加害最盛期に、1圃場あたり100株ずつ3カ所の見とり調査を行い、カメムシ類が平均して100株当たり、4頭以上いる場合は防除を行う。
- (3) ホソヘリカメムシが優占種である場合は、加害能力が高いので注意する。
- (4) 薬剤は莢に充分付着するように散布する。

病害虫名 フタスジヒメハムシ

1 予報内容

発生時期：第3世代成虫発生最盛期は9月中旬頃
被害程度：少発
発生量：平年、前年より多い。

2 防除対策

- (1) 8月下旬に第2世代成虫の防除を行っていない圃場は、9月上旬までに防除を行う。
- (2) 薬剤は莢に充分付着するように散布する。

[オオムギ関係]

病害虫名 裸黒穂病（種子消毒）

1 予報内容

発生量：平年より少なく、前年並み。

2 防除対策

- (1) 種子伝染のみで発病し、感染後の治療薬剤がないため、種子を更新し種子消毒を励行する。また、消毒前に塩水選（比重1.13）により不良麦を除去する。比重終了後は塩水を落とすために水で十分に種子を洗い、むしろなどの上に広げて陰干しする。
- (2) 薬剤消毒法 種子粉衣、浸漬処理の方法がある。
- (3) 風呂湯浸法
湯の温度を42℃にし、10時間浸漬する。浸漬中は1時間当たり1.5℃程度温度を下げるようにする。種子は積み重ねず、浸漬直後とその後は時々攪拌する。

病害虫名 雲形病（種子消毒）

1 予報内容

発生量：平年より少なく、前年並み。

2 防除対策

- (1) 主に種子伝染するので、種子を更新し種子消毒を励行する。また、消毒前に塩水選（比重1.13）により不良麦を除去する。比重終了後は塩水を落とすために水で十分に種子を洗い、むしろなどの上に広げて陰干しする。
- (2) 薬剤消毒法 種子粉衣、浸漬処理の方法がある。
- (3) 風呂湯浸法
湯の温度を42℃にし、10時間浸漬する。浸漬中は時間当たり1.5℃程度温度を下げるようにする。種子は積み重ねず、浸漬直後とその後は時々攪拌する。
- (4) 種子が覆土されると発病が少なくなるので、条播を励行する。
- (5) 早播きすると発生が多くなるので、適期播種に努める。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
キャベツ ハクサイ	べと病	初発期： 10月上旬	少発	平年：少 前年：並み	1)排水をよくする。 2)密植を避ける。 3)肥料切れをさせない。 4)被害葉を取り除く。 5)葉の裏にもていねいに薬剤を散布する。
ハクサイ	白斑病	初発期： 10月上旬	少発	平年：少 前年：並み	
ダイコン キャベツ ハクサイ	モザイク病	初発期： 9月上旬	少発 (局中発)	平年： やや多 前年：多	1)アブラムシを防除する。 2)発病株は早めに処分する。
	軟腐病	初発期： 9月下旬	少発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	1)連作を避ける。 2)早播きに発病が多い。 3)排水をよくする。 4)間引き作業を適期に行う。 5)食痕性害虫を防除する。
ニンジン	黒葉枯病		少発 (局中発)	平年：並み 前年： やや多	1)連作を避ける。 2)肥料切れさせない。 3)排水をよくする。
ネギ	さび病		少発	平年：並み 前年： やや多	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)肥料切れさせない。 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
全 般	アブラムシ類		少発 (局多発)	平年： やや多 前年：並み	1)対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	ハダニ類		少発 (局中発)	平年： やや多 前年：並み	1)対象作物により薬剤が異なるので注意する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
全 般	ヨトウムシ類 (ヨトウガ、シロシタヨトウなど)	幼虫発生初期： 9月上旬	少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	
	ハスモンヨトウ		少発 (局中発)	平年： やや少 前年： やや少	
アブラナ科野菜	コナガ		少発 (局中発)	平年：並み 前年： やや多	
	モンシロチョウ (アオムシ)		少発 (局中発)	平年： やや多 前年：並み	
	タマナギンウワバ	加害盛期： 9月中旬	少発	平年： やや多 前年： やや多	
	キスジノミハムシ	加害盛期： 9月中旬	少発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	
	ダイコンサルハムシ	加害盛期： 9月中旬	少発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	
	ハイマダラノメイガ	加害盛期： 9月下旬	少発 (局中発)	平年： やや多 前年：並み	
ナス ピーマン キュウリ サヤインゲン ホウレンソウ	ミナミキイロアザミウマ		少発 (局多発)	平年： やや多 前年： やや多	1)本虫は寄主範囲が広いので注意する。
トマト キュウリ	タバココナジラミ		少発	平年： やや多 前年： やや多	

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
トマト ナス ピーマン	オオタバコ ガ		少発 (局中発)	平年：多 前年： やや多	1)果実に食入するため若齢期に防除を徹底する。
トマト	ミカンキイ ロアザミウ マ		少発 (局多発)	平年： やや多 前年： やや多	

[果樹関係]

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
ナ シ	ハダニ類		少発 (局中発)	平年：多 前年： やや多	1) 同一系統の薬剤の連用を避ける。
ウ メ	ウメシロ カイガラ ムシ第3 世代	幼虫ふ化 最盛期：9 月第1半 旬	中発 (局多発)	平年：並み 前年：並み	1)産卵時期から観察を始め、ふ化時期を確認し、数日以内に薬剤散布する。

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
キ ク	白さび病		少発	前年：並み	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする。 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
	アブラムシ類		少発 (局中発)	前年： やや多	1)同一系統の薬剤を避ける
	オオタバコガ		少発	前年： やや多	1)若齢幼虫期までに防除を徹底する。 2)同一系統の薬剤を避ける
	ハダニ類		少発 (局中発)	前年： やや多	1)同一系統の薬剤を避ける